

＜平成24年度薩摩川内市事務事業評価表＞

1 事務事業の位置付け(Plan)								
事務事業名	きやんせ！薩摩川内よかまちキャンペーン事業			担当者	野元正文			
所管部課名	商工観光部 観光・シティセールス課			事業の根拠(根拠法令)				
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理							
総合計画上の位置づけ	施策の基本方針	政策(章)	地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくり	主要施策(節)	観光の振興			
				施策(項)	観光資源の複合的な活用			
予算科目等	会計	一般会計		款	07商工費			
	項	01商工費		目	03観光費			
	事項	03観光費		細事項	01観光費			
事業の概要								
・九州新幹線全線開業の誘客効果をより一層拡大させる ・観光客が少ない閑散期(12月から2月)に市外居住者を対象として本市に誘客を行うために、キャンペーンを実施する。 ①チラシ・ポスターの作成 ②アンケートの集計・報告書の作成 ③商品の選定・手配、当選者への発送								
2 事務事業の実施 (Do)								
事業の内容	対象(誰を、何を対象とする事業か)	・市外居住者 ・宿泊施設等を利用した人		事業開始年度		平成23年度		
	手段(市がどのような活動をするか)	①閑散期に観光誘客促進(キャンペーン)活動を行う。 ②平成23年3月に九州新幹線全線開業した新幹線を利用した誘客活動を継続的に行っていく。		活動指標(市として何を行うか?)	指標名	観光客数		
					最終目標値	270万人		
					最終年度	平成26年度		
	意図(どのような目的で事業を行うか)	①キャンペーンを通じて市内観光客数・宿泊者数の増加や特産品の販売増をめざす。		成果指標(活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	観光客数		
					最終目標値	270万人		
				最終年度	平成26年度			
経費及び指標の推移	項目	単位	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算額	平成25年度見込み	平成26年度見込み	
	事務事業費	千円	0	2,583	1,100	1,100	1,100	
	委託料			2,583	1,100	1,100	1,100	
	要員配置状況	人	0	0.16	0.16	0.16	0.16	
	職員			0.16	0.16	0.16	0.16	
	嘱託員							
	臨時職員等							
活動指標の推移	万人	244	264			270		
成果指標の推移	万人	244	264			270		
財源内訳	事務事業費	千円	0	2,583	1,100	1,100	1,100	
	国・県支出金							
	その他							
	一般財源		0	2,583	1,100	1,100	1,100	

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある <input type="checkbox"/> 妥当でない (上記選択の理由) 観光交流人口の増加や、閑散期における誘客にはキャンペーンは必要である。
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) 観光施設や宿泊施設のホテル・旅館組合との連携を図りながら実施するため、市において実施する必要がある。
効率性	事業費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 当選者を限定すれば、事業費は削減できる。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 業務的に現状のままで削減の余地はない。
有効性	成果の達成度 <input type="checkbox"/> かなり高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) 閑散期(12月～2月)にホテル・旅館の利用拡大や特産品の販売、地元消費の拡大に繋がっている。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) 今後は、アンケート結果の生かして、閑散期における問題・課題を整理しホテル・旅館や特産品の販売所で独自でキャンペーンが実施できるようにしていきたい。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価(一次)	内部評価結果
	今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	上記方向の理由 現在、旅行者が鹿児島県に目が向いているが、今年の秋以降東京のスカイツリーや東北地方の博覧会等観光客が九州からシフトすると予測されている。今後、観光客の動向を見ながらキャンペーンの方向性を考えていきたい。
	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画
外部評価(二次)	外部評価結果
	事業の視点別評価 妥当性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い
	今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	外部評価結果のまとめ

平成23年月別・宿泊施設別入込客延べ人泊数

No	分類	年間宿泊客延べ人泊数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1	ホテル・旅館	14,241 (727)	16,582 (640)	18,714 (174)	15,485 (75)	24,934 (102)	25,441 (114)	19,481 (166)	23,758 (247)	27,464 (213)	28,364 (205)	21,132 (412)	16,839 (316)	252,435 (3,391)
2	民宿・ ペンション	3,120 (0)	3,354 (0)	3,641 (0)	2,764 (0)	5,484 (0)	6,757 (0)	4,211 (0)	3,871 (0)	6,275 (0)	8,189 (0)	5,598 (0)	3,752 (0)	57,016 (0)
3	ユースホテル	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
4	社会教育施設	71 (0)	218 (0)	230 (0)	1,802 (17)	2,120 (0)	2,106 (0)	913 (5)	601 (14)	414 (24)	920 (0)	223 (0)	78 (0)	9,696 (60)
5	公共の宿泊施設	975 (0)	715 (0)	1,022 (2)	932 (0)	1,454 (0)	700 (0)	910 (0)	1,661 (0)	800 (0)	899 (0)	1,113 (0)	901 (0)	12,082 (2)
6	キャンプ場	0 (0)	26 (0)	9 (0)	4 (0)	128 (0)	10 (0)	893 (0)	1,686 (0)	286 (0)	11 (0)	59 (0)	3 (0)	3,115 (0)
	《市町村計》	18,407 (727)	20,895 (640)	23,616 (176)	20,987 (92)	34,120 (102)	35,014 (114)	26,408 (171)	31,577 (261)	35,239 (237)	38,383 (205)	28,125 (412)	21,573 (316)	337,797 (3,453)

()内は外国人客の宿泊延べ人泊数



「きやんせ! 薩摩川内よかまちキャンペーン」
 薩摩川内の「おいしいおもてなし」をカタチにして
 抽選で**300**名様に**プレゼント!**

A~Cの中からご希望の商品をお選びください。
※薩摩川内市以外に居住の方で期間中に本市内の宿泊施設等を利用された方に限ります。
 (対象施設は裏面を参照ください。)

A 甌島近海の海鮮
詰め合わせ

100
名様

※商品の中から組み合わせた
セットになります。



B 薩摩川内市 大地の恵み
詰め合わせ

100
名様

※商品の中から組み合わせたセットになります。



C 薩摩川内市の本格焼酎1.8ℓ 1本

100
名様

※いずれも写真はイメージです。
 賞品は都合により変更する
 場合があります。



さらに**Wチャンス!!**
薩摩川内賞

八間星兜(箱付)

薩摩川内市にある丸紙産業は、大河ドラマや映画などで
 使用される兜や鎧などの大半を製造しており、知る
 人ぞ知る伝統工芸品です。 -鹿児島県指定伝統工芸-

鎌倉期からの甲冑の代表的な数型付き本兜。
 伝統技法により職人が手作りで製作した逸品。

※手作りのため、写真とは異なる場合がございます。



(キリトリ)

郵便はがき



50円切手をお貼り下さい

8 9 5 - 0 0 0 6

薩摩川内市田崎町1077-3 (洲上印刷株式会社内)

「きやんせ! 薩摩川内
 よかまちキャンペーン」
 募集係 行

必要事項をご記入の上、切手を貼らずに応募箱に投函ください!

※郵便ポストへ投函の際は切手をお貼りください。

必要事項

ふりがな	年齢	性別
ご氏名	歳	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
ご住所	〒□□-□□□□	都道府県 区市
電話番号 () -	ご職業	
	ご希望コース いづれか お選び下さい。	A B C

施設証明印/担当者印/宿泊日時

	担当者	ご利用日
	印	/

※上枠に施設の証明印、担当者印、宿泊日なきものは、応募無効となりますのでご注意ください。

(キリトリ)

～知名度・好感度の向上、郷土愛の醸成、経済発展を市民ぐるみで取組む～

観光・シティセールスについて



平成24年7月

薩摩川内市 商工観光部
観光・シティセールス課

<http://satsumasendai.gr.jp/>

鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号

TEL0996-23-5111・FAX0996-25-1704

MAIL cs@city.satsumasendai.lg.jp

※表紙の5枚ポスター（B1サイズ）は掲示場所を募集中です。（無料提供）



《使命》 ①知名度・魅力度の向上、②郷土愛の醸成、③経済振興を図りながら「雇用拡大」、「市

それは、おもてなしごだわり 思いやりの心

1. 情報発信



- ①テレビ・ラジオ・雑誌等への情報発信
- ②Webサイト「こころ薩摩川内観光特産品ガイド」→目標:年間60万PV 《約53万PV》
- ③フェイスブックページ「薩摩川内市」→4月3日開設
- ④メールマガジン「行暮買メール」→目標:登録者数2千人 《約1.7千人》
- ⑤交通広告→博多駅、鹿児島空港、博多・鹿児島間高速バス、ANA 国内旅客機
- ⑥シティセールスポスター→ポスター配布 ※配布先を募集中
- ⑦薩摩川内観光大使による情報発信→塩田浩一さん、A Iさん、小倉一郎さん



3. 旅（観光誘客）

- ①旅行会社向け営業（旅行商品造成支援事業）→目標:年間1千人以上 《74 ツアー約1,400人》
※甑島への観光客は昨年度の1.5倍、4年前の2倍 ※現地案内・ツアーオペレーション機能の強化による観光客受入態勢の充実
- ②「きゃんぱく（薩摩川内スピリッツ・きやんせ博覧会）」による誘客→目標:1万人 《約9.5千
- ③郷土会や他市町との連携、合宿キャンプ・スポーツ大会を活用した誘客→目標:7ツアー以上作
- ④観光イベント、観光施設を活用した誘客→目標:30 ツアー（プログラム）以上催行 《21（き
- ⑤旅行商品の開発（ぽっちゃん計画）→肥薩おれんじ鉄道、JR、ANA、旅行会社への売込み
- ⑥各種大会・コンベンションの誘致→目標:新規2件以上誘致 《1件》
- ⑦地域観光の活性化→川内高城温泉、市比野温泉、入来麓伝統的建造物群保存地区、蘭牟田池、可愛山陵…等において、「きゃんぱく」プログラムの掘り起こし、関連ツアーの誘致に取り組む
- ⑧観光協会、各ツーリズム協議会、各観光ガイド組織（いたっみろ会・ふるさと案内人等）の活動支援

きゃんぱく



<体験型旅プログラム地域博覧会> <ログマーク> <九州のムラ市場> <玉ねぎドレッシング> <

6. 観光施設

- ①43 施設の運営→適正運営、利用者の増（年間111万人が利用）
- ②観光船「かのこ」→目標:2千人以上 《約1.9千人》

7. 観光統計

- ①観光入込客数→目標:270万人 《約264万人（含甑島6万人）》
- ②宿泊者数→《33万人（含甑島3.6万人）》

8. 人材育成「しずく

目標:325名受講 《528
地元もりあげ作戦会議（水
水辺体験イストラクター育成
ばあちゃんの味伝承塾
観光おもてなしのはなし
農商工連携セミナー（事業者向け）



※《 》は、平成23年度の成果

シティセールスの取組みについて

「市民所得向上」を実現する →市総合計画＜将来都市像＞＝市民が創り市民が育む「交流躍動都市」

2. シティセールスサポーター制度

①活動の活発化→目標:登録会員 5,000人 《4.2千人》

②サポーター特典制度→平成24年5月特典制度創設

※協賛店を募集中(現在、約130店)



＜ご当地グルメブランド＞

＜かっぱのカレーうどん＞＜あおさラーメン＞

受入れ》

2人》

進行《新規
ちゃんばく》

メ

新田神社・



椿油 >

4. 食

①ご当地グルメ『旨いの国さつま飯』→目標:年間2万食提供 《約1万食》

※かっぱのカレーうどん、くじらヘルシ御膳、あおさラーメン、トーゴーちゃんぼん、川内大綱うどん、河童一本

※新規メニューを募集中

②ご当地スイーツ→目標:年間1万個販売 《通算9,163個》※新規商品を募集中

③ご当地弁当→※新規商品を募集

④伝統料理

5. 品

①物産・特産品セールス(斡旋・事業者紹介) ※常温商品を募集中

※平成24年7月、JR博多駅ターミナルビル「くうてん」で「甑島フェア」(19店舗30ブース)を実施

②スピリッツロゴマーク商品の認定とセールス

※薩摩川内うなぎスーパーチルド、焼き鳥(鹿児島食品㈱)、こしき竜宮伝説(こしき海洋深層水㈱)、竹紙名刺(印刷工業組合各社)等

③商品開発(ぼっちゃん計画) ※開発企画を募集中

④百貨店等での催事イベント(伊勢丹、岩田屋、山形屋、九州のムラ市場等)

⑤F&B良品薩摩川内/こころオンラインショップ(インターネット販売)

⑥特産品協会の活動支援



くの学校」(ぼっちゃん計画)

3人》 ※受講生を募集

※企画) 自然体験型ストラクチャー育成セミナー

特別な逸品を産むしくみ

空き家も愉しくするはなし

起業化・法人化への道

起業化・法人化セミナー(事業者向け)



9. 推進体制

①観光・シティセールス課 観光誘客、物産販売、観光施設

②観光協会(市職員の派遣)

※観光案内所＝川内駅、上甑島(里港)、下甑島(長浜港)

③雇用創造協議会(ぼっちゃん計画室)

※商工会議所、商工会、観光協会、農協、漁協等で構成

④シティセールスサポーター

■観光・シティセールスに係る主な経過

時 期	経 過
平成 16 年 2 月	●合併協定締結項目の市町村建設計画(まちづくり計画)に「新市ブランドの形成」が掲載される
10 月	●市町村合併により「薩摩川内市」が誕生
平成 17 年 4 月	●第 1 次薩摩川内市総合計画に「ブランド計画策定」が掲載される
平成 20 年 11 月	●市長選マニフェストに「シティセールスの推進」を掲げた岩切秀雄市長が就任
平成 21 年 3 月	●市長が「観光元年」を宣言
4 月	●市にシティセールス推進本部を設置(本部長:向原副市長)
平成 22 年 1 月	●ロゴマーク「薩摩川内スピリッツ」の商標登録
4 月	●観光交流部(シティセールス推進課、観光課)発足
7 月	●シティセールスサポーター制度スタート ●国産竹 100%使用「竹紙」の利用促進協定締結
11 月	●ご当地スイーツ「mucca」販売開始
12 月	●薩摩川内市ブランド・シティセールス推進計画の改定
平成 23 年 1 月	●薩摩川内市雇用創造協議会発足
2 月	●シティセールスサポーター大交流会開催 ●「きゃんぱく(薩摩川内スピリッツ・きやんせ博覧会)」開催
3 月	●薩摩川内市地域再生計画の認定(総理大臣) ●ご当地グルメ「かつぱのカレーうどん」が販売開始
4 月	●薩摩川内市雇用創造協議会事務局(ぽっちゃん計画室)の設置 ●新観光船「かのこ」就航
6 月	●旅行商品造成支援事業スタート
7 月	●「こころ薩摩川内 観光・特産品ガイド」ホームページの開設
8 月	●ぽっちゃん計画室「しずくの学校」セミナー事業の開始 ●『こころ』観光・特産品ガイド」ホームページにオンラインショップを開店
9 月	●ぽっちゃん計画室が「サラダ玉ねぎドレッシング」を開発(第 1 号)
平成 24 年 4 月	●観光交流部と商工政策部を「商工観光部」に再編。「観光・シティセールス課」の設置 ●Facebook ページ「薩摩川内市」の開設
5 月	●Facebook ページ「F & B 良品薩摩川内」の開店
6 月	●ANA ご当地プレーンの運行開始(機体ラッピングと機内座席パンフ配置)
7 月	●JR九州博多駅ターミナル「くうてん」で「甑島フェア」を開催(19 店舗 30 メニュー)

■観光・シティセールス推進体制

- 薩摩川内市ブランド・シティセールス 推進会議(会長:商工会議所会頭)
- 薩摩川内市雇用創造協議会(会長:市長)
- シティセールス推進本部(本部長:向原副市長)

■担当課・事務局

≪観光・シティセールス課≫ [11 名]※観光誘客グループ、物産販売グループ、観光施設グループ

≪雇用創造協議会事務局(ぽっちゃん計画室)≫

[16 名(専従職員 9 名、兼務市職員 7 名)]

※総務セクション、上甑島セクション、下甑島セクション

≪薩摩川内市観光協会事務局≫ [16 名]

※総務課、事業課、上甑島支所(上甑島観光案内所) 下甑島支所(下甑島観光案内所)



外部委員評価作業シート

番号: 19 事務事業名: きやんせ! 薩摩川内よかまちキャンペーン事業

○視点別評価

委員名

視点	事務事業を評価する際の着眼点												
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の対象・手段は適切か 市民ニーズを反映しているか（ニーズが薄れていないか） 国や県、他の課の事務事業と重複または類似していないか 民間で実施する方が、より成果や効率性が高まらないか すでに期待した目的を達成した事業ではないか 社会情勢の変化による目的や対象・手段について見直しの余地はないか 												
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 更なるコスト削減が図れないか 費用対効果は適切か 従事職員数は適切か 他の実施主体を活用し、コスト削減が図れないか 整理・統合できる事業はないか 												
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 目的に沿って期待通りの成果があるか 事業継続により成果の向上が期待できるか コストに対し、十分な成果があがっているか 												
事業の視点別評価	<table border="0"> <tr> <td>■ 妥当性</td> <td>⇒</td> <td><input type="checkbox"/> 高い</td> <td><input type="checkbox"/> 低い</td> </tr> <tr> <td>■ 効率性</td> <td>⇒</td> <td><input type="checkbox"/> 高い</td> <td><input type="checkbox"/> 低い</td> </tr> <tr> <td>■ 有効性</td> <td>⇒</td> <td><input type="checkbox"/> 高い</td> <td><input type="checkbox"/> 低い</td> </tr> </table>	■ 妥当性	⇒	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 低い	■ 効率性	⇒	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 低い	■ 有効性	⇒	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 低い
■ 妥当性	⇒	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 低い										
■ 効率性	⇒	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 低い										
■ 有効性	⇒	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 低い										

○評価区分

区分	評価の理由	チェック		
現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容や実施方法が適切である 事業規模（予算）が適切である 			
見直しの上で継続	拡大	<ul style="list-style-type: none"> 事業規模（予算）を拡大すべきである 対象範囲を見直す必要がある 		
	統合	<ul style="list-style-type: none"> 他の事務事業と統合すべきである 		
	手段の改善	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容や実施手法を見直す必要がある 業務処理の効率化を図るべきである 民間で実施した方が効果的・効率的である 市民ニーズの再把握が必要である 		
		移管	<ul style="list-style-type: none"> 他の課・部署へ移管すべきである 	
		縮小	<ul style="list-style-type: none"> 事業規模（予算）を縮小すべきである 対象範囲を見直す必要がある 	
	休止	<ul style="list-style-type: none"> 目的の達成状況、社会情勢の変化から、事業実施の必要性・緊急性がない又は低い。 		
廃止	<ul style="list-style-type: none"> 市で実施する妥当性がない 目的の達成手段として不適切である 事業効果がない又は低い 実施の必要性がない又は低い 他の事業と重複している 			
今後の改革の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			



外部評価結果のまとめ（行政改革推進委員会の意見）

■評価■（今後の改革の方向性）

■付記する意見■